

# 銅が艶めく魅惑のサクソフの音

サクソフをきわめて半世紀超。  
国内唯一の専門メーカー



サクソフの音は独特である。艶音があつて、やわらかくて、情熱的。即興で紡ぎだされるジャズの音色など、しびれるほど美しい。

世界のサクソフブレイヤーが愛用するブランドが日本にある。その名は「YANAGISAWA」。柳澤管楽器（株）が製造するサクソフは、国内よりもむしろ海外で人気が高い。知る人ぞ知るYANAGISAWAのサクソフ。その魅力を探りに工場に向かった。

東京・板橋区小豆沢の同社工場は民家が密集する細い路地に面している。看板がなければ住宅と見間違えるような外観である。しかし、ひとたび中に入ると別世界：「同社は国内唯一のサクソフ専門メーカーである。数ある楽器のなかでなぜサクソフを手掛けることになったのだろうか。同社の柳澤信成社長に話を伺った。

「創業時、フランスのセルマー社、アメリカのキング社、コーン社などから優れたサクソフが生まれ、その高い性能から世界を席巻しました。そのようなメーカーと肩を並べたいと、昭和二十六年、先代の柳澤孝信は難易度の高いサクソフづくりに挑戦しました。社名に『管楽器』と付けたのはサクソフが完成したら様々な楽器を手掛けたという思いからですが、約六十年経た今もサクソフ、いまだ完成の域には届いていません。」

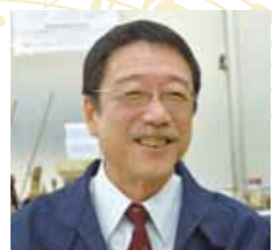
そもそもサクソフは二四〇年代にベルギーの楽器製作者アドルフ・サクソスが考案したもので、比較的若い楽器である。「サクソフは、まだ進化している楽器です。良い音を探し

て試行錯誤を続けていますが、正解がないところが楽器づくりの面白いところでもあります。」

やわらかい銅だからこそ実現できる音

同社は年間約七千五百本のサクソフを製作し、その大半を海外へ輸出している。日本のサクソフ市場は吹奏楽向けが八割を占め、個人向けは二割となる。しかし、これが海外になると逆だ。ジャズやポップスなど、個人での使用が主となる。ソロブレイヤーはより自分の個性が表現できるサクソフを求める。そのような要望に応えるサクソフとしてYANAGISAWAブランドは人気を集めている。こだわりの強いブレイヤーを満足させるサクソフとはどのように作られるのだろうか。

「サクソフは金属製ですが、その発音原理から木管楽器に分類されます。木管楽器はどれだけ人の手をかけるとかで良し悪しが決まります。サクソフは本体の加工、部品のプレス、キー作り、表面処理、組立、検査と、数多くの工程を経ますが、弊社では手作業を主とし、トータルで約百人の手を介してサクソフを作っています。」



代表取締役社長 柳澤 信成 氏

技能が問われるという。材料は銅や真鍮、銀板が使用され、これが溶接され管となり、叩いて凹凸をなくし、管をテーパに押し広げ、ヘラ絞り等で成形していく。無機質な

銅板は人の手によって音を

奏でる楽器へと変身するのである。

「サクソフ特有の音はやわらかい銅だからこそ実現できます。そのため真鍮は銅の比率を上げたレドブラス銅九〇％、亜鉛一〇％を使用しています。銅はまるで生き物のようで、成分が同じでも精錬された場所や音の違いが出たり、わずかな不純物が音に影響したりします。」

柳澤社長は楽器づくりは音を創ることだと語る。優れた道具が職人の腕となって働くように、優れたサクソフはパワフルな音も繊細な音も豊かに表現し、使い込むほどにブレイヤーの個性を表現するようになるのだという。生き物のような銅をたくみに操って、人の手から生まれるサクソフ。その音がステージの上でひととき個性を放つとき、サクソフは完成に二歩近づくのもしれない。



材料は銅、真鍮、銀が使用される



ヘラ絞り



ポスト(支柱)付け



組み立て

# 銅の抗菌性を活かして、木材の腐朽を防ぐ

「木材と銅」互いの特性を正しく理解することから始まる

住宅の外壁や庭園などの外観を美しく演出する、エクステリア。その中でも、温かみがあり、人に安らぎを与えてくれる木材を使ったエクステリアウッドが注目を集めている。しかし、屋外で使用される木材の場合、腐朽は避けて通れない。そこで、エクステリアウッドの世界にいち早く着目し、素材や施工の独自のノウハウを蓄積してきた



(株)スペースウッド 代表取締役 佐藤 直樹 氏

銅メッキされたビスを使用している。ビスを木材に打ち込むと、雨が降った際に、銅イオンが木材の内部に溶け出し、抗菌作用を発揮するので、防食・防虫効果を高めることができるのだ。柏木氏は銅の抗菌性をとことん活用して、エクステリアウッドの長寿命に挑戦し続けている。

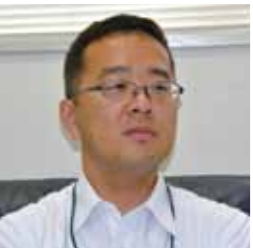
人と環境に優しい銅系の加圧式保存処理木材

(株)スペースウッドの、抗菌木材は兼松日産農林(株)が製造している「銅系の加圧式保存処理木材」と呼ばれる製品だ。



「木材が最も腐りやすいのは、地面から上下三十cmの空間です。地面からの湿気の影響で腐朽菌などの雑菌が非常に繁殖しやすく、またシロアリの影響も受けやすい場所になります。そこでおすすめしているのが銅化合物を含んだ薬剤を加圧注入した、抗菌木材です」と柏木氏は話す。しかし、銅で木を守るという話をすると、戸惑うお客さまもいる。「かつては木材の腐食を防ぐために、橋の欄干に銅板を使ったり、建築物に銅製の釘を使用していたものです。昔から人は、銅の抗菌性・防虫性をきちんと理解し、暮らしの中に取り入れてきたのですね(株)スペースウッドでは、抗菌木材だけではなく、施工の際に

「加圧注入装置のタンクは長さ七mと二十mの二つを用意しています。ここにスギやヒノキ、カラマツなどの木材を入れ、タンク内の圧力を下げて真空状態にし、木材の中の空気を抜いていきます。そこに銅化合物を含んだ薬剤を満たしてから圧力を高め、木材の内部まで薬剤が浸透するようにします。」



同 木材・住建事業部 技術ソリューション部 開発研究課 主任研究員 中井 大二郎 氏



兼松日産農林(株) 木材・住建事業部 保存木材部 営業課 宮地 利幸 氏

最後にタンク内の圧力を下げることで、木材から余分な薬剤を排出させ、装置から取り出します」と開発研究課の中井氏。「こうした処理を行うことで、無処理木材に比べ、三倍から五倍以上長持ちするようになんです」処理を終えた木材のにおいをかいでみると、ニスなどは全く違う心地よい木の香りが漂う。



住む人のライフスタイルにあわせて、住宅の外観を美しく演出するエクステリアウッド



Webサイト URL <http://www.spacewood.co.jp/>